

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

グループ経営資源の選択と集中により収益拡大を目指し、ステークホルダーとの信頼関係強化で持続的成長を期待される存在感ある企業グループの形成

2 中長期の経営戦略

1. 新造船建造能力強化

需要拡大に向け伊万里事業所での長期設備投資計画策定、スマートファクトリー化、函館どつくの設備近代化を推進

3. 修繕事業の拡大

佐世保重工業・函館どつくの3拠点連携。防衛費増加や米海軍大型艦艇修繕需要を捉え受注獲得、設備老朽化解決に投資

2. ゼロエミッション船開発

商船三井・三菱造船と大型アンモニア輸送船を共同開発。2050年カーボンニュートラル実現に向けた水素・アンモニア燃料船の技術開発

4. デジタルトランスフォーメーション推進

生産現場の最適化・省人化のためDX化を実施。設計から調達・製造までの一貫したコスト削減活動を徹底

3 対処すべき課題

① 新造船競争の激化

- ・ 中国造船所の受注加速と大量竣工の影響に対応
- ・ 次世代燃料船の建造長期化・複雑化への対応
- ・ 主力商品の性能・品質向上による受注力強化

② 修繕事業の人材・設備課題

- ・ 佐世保重工業・函館どつくの人材確保と育成
- ・ 設備老朽化対応と規模拡大・収益力強化
- ・ 米海軍大型艦艇修繕対応体制の整備

③ 鉄構事業の低迷と信頼喪失

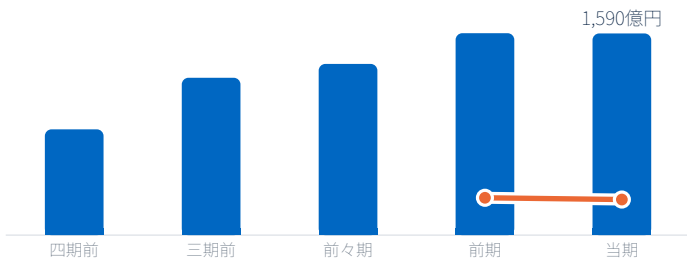
- ・ 2023年7月の橋桁落下事故からの信頼回復
- ・ 国内鋼道路橋発注量低下への対応
- ・ 船用機器の原材料高騰と安定調達課題

面接で使えるポイント

- ・ 世界的な次世代燃料船需要とゼロエミッション化に対応する造船技術開発の最前線に携わられる点
- ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた環境負荷低減を経営最重要課題に位置付ける経営姿勢
- ・ 防衛費増加で変わる修繕事業環境と米海軍大型艦艇修繕といった新規事業機会への挑戦

証券コード 7014

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,590億円営業利益率
17.7%財務健康度
64点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 55.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
690万円

輸送用機器内 41位/82社

平均年齢
41.1歳

輸送用機器内 65位/83社

平均勤続
17.2年

輸送用機器内 46位/83社

女性管理職
5.5%

輸送用機器内 19位/72社

男性育休
55.2%

輸送用機器内 57位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)名村造船所【7014】：株価・株式情報

